

保護者等向け放課後等デイサービス評価表アンケート結果報告書**アンケート実施背景：**

放課後等デイサービスでは、「放課後等デイサービスガイドライン」の内容に沿った評価項目が規定され、事業者は各項目について自己評価を行うとともに、利用する障がい児の保護者による評価を受けて改善し、その内容をおおむね年1回以上インターネットその他の方法により公表することが義務づけられています。

実施方法：

- ・ アンケートは2020年3月中旬に利用児の全保護者宛てに発送しました。(発送数30、うち、返送数22)
- ・ アンケートは無記名で実施し、評価項目は大阪府より告知された規定項目をそのまま使用しました。
- ・ アンケートは「はい」を10点、「どちらともいえない」を5点、「いいえ」を0点として集計をし、各項目の集計と平均点を集計しました。全てのご意見を集計表に記入しました。

アンケート結果：**① 評価が高かった項目（平均点9.5点以上）**

「定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか」

「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」

「日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか」

「保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか」

「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されているか」

「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」

「個人情報に十分注意しているか」

「事業所の支援に満足しているか」

会報やライン等を活用した日々の連絡や個別でのご様子報告などのコミュニケーション、面談やニーズの理解を通じて行っている支援計画の作成・実施や活動内容、個人情報への注意などに一定の評価を頂きました。また事業所の支援に対する満足度においても、高い評価を頂き、励みとなりました。これらの項目については、今後もしっかりと継続してまいります。

② 評価が低かった項目（平均点7点以下）

「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」

「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか」

「子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか」

前年度は「青少年クリエイティブセンター」等で地域のお子さまと関わる機会を持つことができましたが、下校時刻の分散で、学校休業日以外の外出が難しくなりました。今後は外出の機会に一般の児童生徒さんと同関わる機会を増やせるよう検討いたします。保護者会などの保護者同士の連携については、現時点でまだ実施ができておりません。まずは各保護者さまのニーズを伺うことから始めたいと思います。活動スペースについては、規定は満たしているものの、現時点ではすぐに改善することが難しく、座卓など、活動ごとに移動・撤去できる家具で工夫し、学校休業日の外出などで活動の幅を広げています。

③ 「どちらともいえない」「わからない」という評価が多かった項目

「子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか」

「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明が行われているか」

「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」

これらの体制やマニュアル整備や実施については、実際には行われているにも関わらず、保護者さまへの十分な周知が行き届いていないことがわかりました。

総括：

全般的に、保護者さまとのコミュニケーションや、個々のお子さまやご家族のニーズを理解した計画作成と実施、活動内容の分野において、さらには事業所の支援についても、概ね満足を得ているようで、これまでの日々の努力をしっかりと継続して行きたいと考えています。一方、保護者会などの連携や、他の施設との交流の面においては、今後の課題として着手してまいります。活動スペースについては、物理的な制約のなかで、外出の活用やスペースの有効活用を継続したいと考えております。苦情窓口の設置や災害等のマニュアル整備状況については、新規ご契約時や定期的に各トピックを会報で取り上げるなど、新たな取り組みを進めてまいります。

アンケート集計 (次ページ)：

令和2年3月実施 保護者向け 放課後等デイサービス評価表集計結果（令和2年4月10日）

アンケート返送数=22

平均点★は、はい=10点、どちらともいえない=5点、いいえ=0点、とし、その項目の回答数で割った数値です。（空欄はどちらともいえない、としました。）

	チェック項目	回答数			平均点★	ご意見
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	9	2	7.0	「少し狭いように感じる。外あそびができるようならよいが」「少し狭いように感じる」「もう少し広いと望ましい」「大きい子が多いと十分ではないかも」
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5	0	8.9	「適切かどうか、わからない」
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	8	0	8.2	「意識して見ておらず、わからない」「うろ憶えだが、入口に段差があったような」
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	2	0	9.5	「わかりません」「子どもの生活(れいんぼーでの様子)や保護者の声も聞いて作成している」
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	9.8	「バリエーションは豊富のように思う」「毎月プログラムが変わっており工夫されていると思う」
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	9	8	4.3	「わかりません」「わかりません」
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1	1	9.3	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1	0	9.8	「LINE連絡が便利」
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	0	9.8	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	17	1.1	「そのような集会はないかと・・・」
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	10	1	7.3	「わかりません」「苦情がないのでわかりません」
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	2	0	9.5	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	0	0	10.0	「にじのはしがわかりやすくて、これからも続けてほしい」
	14 個人情報に十分注意しているか	20	2	0	9.5	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	7	0	8.4	「わかりません」
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	6	1	8.2	「わかりません」
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	4	0	9.1	
	18 事業所の支援に満足しているか	20	2	0	9.5	「個別に対応、LINEで連絡とれるのも助かる」

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。